床ずれ防止エアマット

エアマスター
アクティセット

保 証 書

本書は取扱説明書による正常なご使用で、保証期間中に故障した場合に本書記載内容にて無料修理させていただくことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生した時には、本書と商品をご持参の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

※欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ずご記入の有無をご確認ください。本書は再発行いたしませんので、紛失なさいませんように大切に保管してください。

1.本書はエアマスターアクティ専用ポンプ及びエアマスターアクティ専用マットの保証書とさせていただきます。
2.保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
ア)ご使用の誤りや改造による故障及び損傷。
イ)お買い上げ後の落下、輸送等による故障及び損傷。
ウ)火災、天災、塩害等による故障及び損傷。
エ)本書の提示がない場合。
オ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。
3.ご贈答品等で本保証書に記入してある販売店に修理が依頼できない場合は、株式会社ケープにご相談ください。

無料修理保証期間(お買い上げ日)	平成 年 月 日より3年間
※お客様	
お名前	TEL
ご住所	
※取扱店	
店名／住所／TEL	

■製造元
株式会社 ケープ
本　　社／〒238-0013 神奈川県横須賀市平成町2-7　TEL:046-821-5511　FAX:046-821-5522
福岡営業所／〒810-0014 福岡市中央区平尾2-17-20　TEL:092-521-0421　FAX:092-521-0399
ホームページ／http://www.cape.co.jp/
E-mail／lovingcare@cape.co.jp

2008年6月 現在

寝心地がよく、
リハビリテーションしやすい
超薄型5cmのエアマットです。
自力でベッドから離れられる方、
マット上でリハビリテーションをする方におすすめです。

ACTY air master

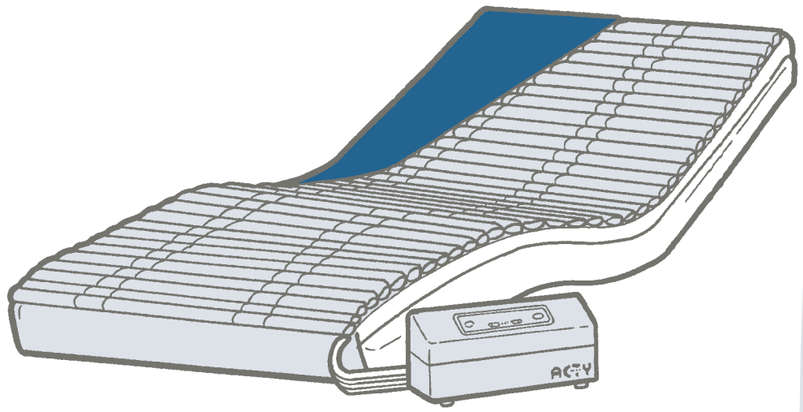
LOVING CARE CAPE
褥瘡0(ゼロ)をめざして

床ずれ防止エアマット

エアマスターアクティ

取扱説明書
（保証書付）

この度はエアマスターアクティをお買いあげいただき、
まことにありがとうございます。



介護保険貸与対象品目

本取扱説明書について
■アクティを実際にご使用になる前に、この取扱説明書を始めから最後まで、必ずお読みください。
■いつでも読み返すことのできるように、この取扱説明書をアクティのそばに保管してください。
■本書の最終ページは保証書になっています。

もくじ CONTENTS

エアマスター アクティについて P2
安全にお使いいただくために P4
●重要安全情報
●安全上のご注意
設置準備の前に P6
●この取扱説明書の見方
●梱包内容の確認
●各部の名称
設置準備をしましょう P8
実際に使用しましょう P13
●通常時の使用方法
●「リハビリモード」使用の場合
定期的なお手入れのしかた P16
保管・廃棄方法 P17
『故障かな?』と思ったら… P18
仕様一覧
保証書 P20

エアマスターアクティについて

エアマスターアクティのご使用に際して

アクティは床ずれ防止用エアマットです。
マットを限界まで薄くしたことにより、マット上での動きやすさ、寝心地のよさを実現しました。
患者さんの自立を最優先に考えたエアマットの新世代です。

アクティは以下の場面で有効です。

- マット上での端座位
- マット上でのリハビリテーション
- 車いすへの移乗
- マット上での自力での体位交換

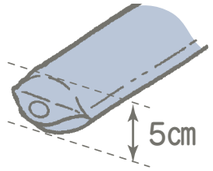
ご使用に際しては医師や看護師などの専門家と相談してください。また、使用されているうちにご使用者の全身状態が変化した場合にも、専門家に相談し用具が適正かどうか確認してください。

お願い　アクティは、「体位交換」が必要な方にとって、それを不要にするものではありません。
ご自身で体位交換が完全にできなくなった方は、トライセルのご使用をおすすめします。

エアマスターアクティの特徴

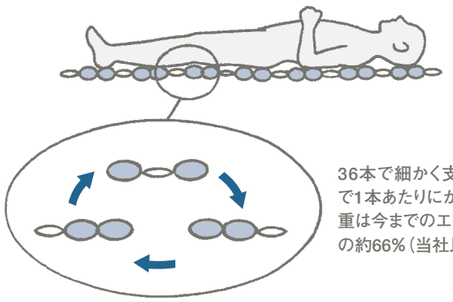
1 わずか5cmの超薄型マット

マットを極限まで薄くすることにより、マット上での動きやすさを実現しました。自立度の高い方でも寝具感覚で安心してご使用できます。
また、マイコンがマット内の空気圧をいつも管理していますので薄くても底着きの心配がありません。



2 「3·36システム」が抜群の安定感を実現

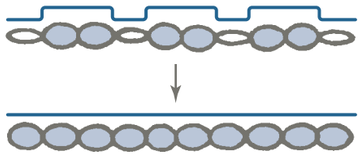
36本のエアセルが3本1組で膨張·収縮します。エアセルが常に広い面積で身体を支えるのでマット上での安定感が抜群です。



36本で細かく支えるので1本あたりにかかる体重は今までのエアマットの約66%（当社比）。

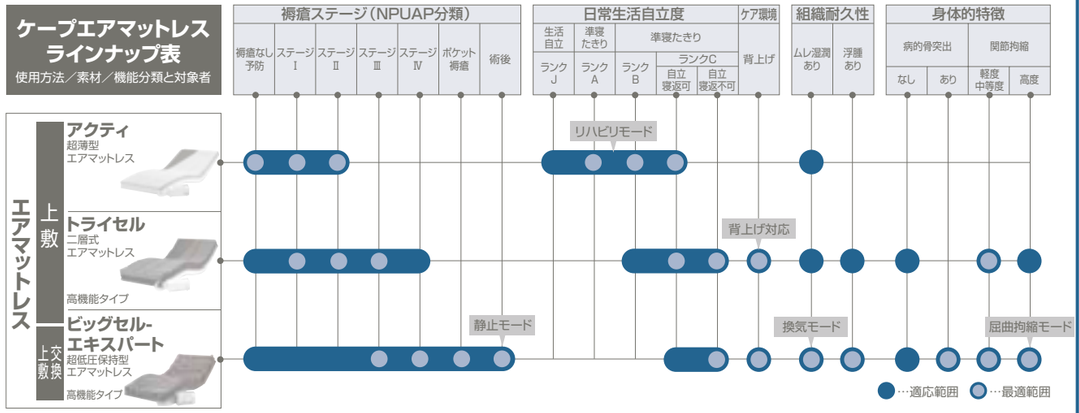
3 更なる安定感を実現する新機能「リハビリモード」

マット内の空気圧の切り替えを、ボタンひとつで静止するケープ独自の新機能「リハビリモード」を搭載。
更に安定感が増し、マット上でのリハビリテーションや端座位も楽に行えます。



ボタンひとつでマット全体の空気圧が均等になり、安定感がアップします。

株式会社ケープでは使用される方の身体状況に応じた商品をご用意しています。

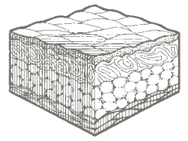


ステージについて（褥瘡ステージ／NPUAPの分類による）

床ずれ（褥瘡）を正しく理解するために代表的な分類法です。
症状の進み具合によって4ステージに分けられています。

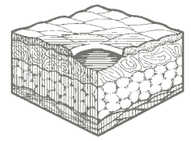
ステージⅠ

指で押しても白くならない紅斑ができている。局部的に熱感が見られる場合もある。



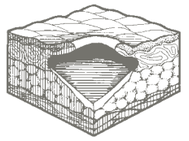
ステージⅡ

表面の剥離、水泡、浅い潰瘍などの皮膚損傷が見られる。損傷は表皮と真皮の一部を含む。



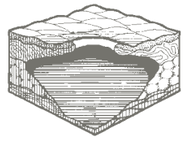
ステージⅢ

深いクレーター状の全層に至る皮膚損傷が見られる。損傷は筋膜には達していない。



ステージⅣ

組織の破壊が見られる深い全層にわたる皮膚損傷が見られる。損傷は筋肉、骨などに及ぶ。



ご理解いただきたいこと

残念ながら、床ずれが発生するメカニズムについて、現在もその全容が解明されているわけではありません。また、患者の方の個別な全身状態によっても、その発生は大きく左右されます。しかし、ひとつの要因として「体重によって局所に加わる継続的な圧迫」が直接的物理的要因であることは、広く認識されています。そのため、床ずれ発生危険度の高い方の床ずれ予防には、介護者による2時間ごとの「体位交換」が有効であるとされています。

アクティは、床ずれ発生のひとつの要素である「体重によって局所に加わる継続的な圧迫」に注目して、圧迫を減少させ、床ずれを予防しようとする補助具です（医療器具ではありません）。したがって、患者の方の全身状態や様々な状況によっては、適切にご使用いただいても床ずれを予防できないことがあります。ご使用にあたっては、これらのことをご理解いただき、ご使用くださるようお願いします。

安全にお使いいただくために

エアマスターアクティの取り扱いにあたっては本書をよく読んでご理解いただき、必ず本書の指　示に従ってください。

重 要 安 全 情 報

「エアマスターアクティ」のご使用中に生じる可能性のある災害を回避するためには、その原因となり得る危険の要素がどこにあるかを、予め知っておくことが不可欠です。しかし当社において、潜在的なあらゆる危険性を予想することは困難です。従って、本書には知り得る限りの安全に関する警告情報を、下記のように定義して記載してあります。

警告　このマークにある指示に従わなかった場合に、物的損害や負傷、死亡につながる恐れのある危険性を警告しています。特に重要なため、下記「安全上のご注意」にまとめて記載し、警告します。

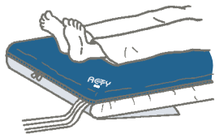
注意　このマークにある指示に従わなかった場合に、本商品が正常に機能しなくなる可能性を警告しています。

安全上のご注意〈警告〉

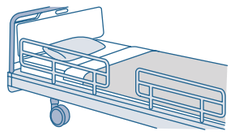
警告 1　アクティは、空気の層で患者の体を柔らかくフロート（浮かせて）して保持するのが特徴です。従って、心臓マッサージ等、反発力の強い床などの上でないと効果がでない処置が予め予測されるような患者への使用はお控えください。ICU等、万が一の応急処置で心臓マッサージの予想される病棟でのご使用に際しては、固い板をご用意いただくなど医師の指導の下でご使用ください。

警告 2　アクティの使用に際しては、必ず医師や看護師などの専門家と相談の上ご使用ください。また使用中に身体に異常を感じたり、不安を感じた場合は直ちに使用を止め、専門家に相談してください。症状悪化や事故の恐れがあります。

警告 3　送風チューブは必ず足側になるようにアクティを設置してください。送風チューブが頭側にくると、送風チューブが首にからんで事故を招く恐れがあります。



警告 4　アクティをご使用の際は、必ずベッドにサイドレールを取り付けてください。サイドレールを使用しない場合には、ベッドからの落下・転落を招く恐れがあり、事故の原因にもなります。

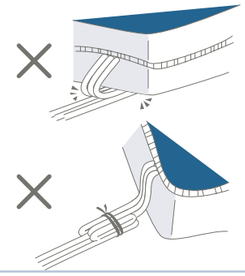


警告 5　アクティの上で飛び跳ねないでください。ケガをしたり、破損の原因になります。エアマットの上で立ち上がったり、膝を立てたりしないでください。局所に高い圧力がかかり続けるとエアセル破損の危険性があります。

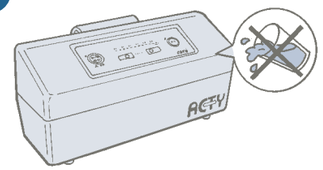
警告 6　アクティの上で端座位や移乗する際には、必ず第三者の立ち会いのもとに行ってください。ベッドからの落下・転落を招く危険があります。

警告 7　アクティの上での喫煙はお止めください。火災の原因等になることがあります。

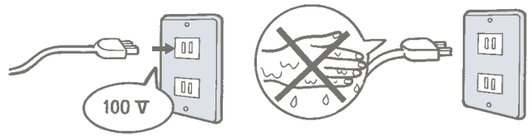
警告 8　送風チューブを束ねたり専用マットの下に巻き込まないでください。送風チューブが折れ曲がったり圧迫されると、空気がエアマット内に送りこまれなくなり、エアマットとしての期待した効果が得られない恐れがあります。



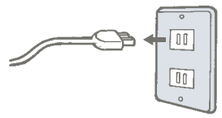
警告 9　アクティ専用ポンプを、浴室などの湿気の多い場所で使用したり、アクティ専用ポンプに水などの液体をかけたり、こぼしたりしないでください。感電事故や故障の原因となります。



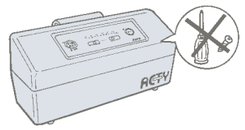
警告 10　アクティ専用ポンプの電源プラグは、必ず日本国内の家庭用コンセント（100V／50/60Hz）に確実に差し込んでお使いください。これ以外の電圧で使用すると、火災事故や故障の原因となります。濡れた手で、アクティ専用ポンプの電源プラグを抜き差ししないでください。感電事故や故障の原因となります。



警告 11　アクティを長期間使用しない時、またアクティ専用ポンプのお手入れの際には、必ず電源プラグをコンセントから外してください。火災事故や感電事故、故障の原因となります。

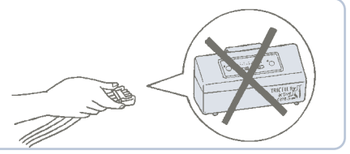


警告 12　ご自分で修理するためにアクティ専用ポンプのネジを取り外し、ケースを開けたり、当社に承諾無しに改造したりすることは絶対にしないでください。感電事故や故障の原因となるうえに、安全上で重大な影響を及ぼす恐れがあります。

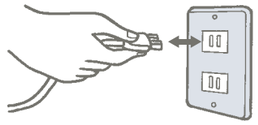


警告 13　アクティ専用ポンプと専用マット以外の組み合わせでは、絶対に使用しないでください。期待した効果が得られないばかりか、火災事故や故障の原因にもなります。

特にアクティの専用マットとトライセルの専門ポンプの組み合わせは絶対に行わないでください。



警告 14　アクティ専用ポンプの電源プラグを無理に引っ張ったり、傷つけたり、破損させたり、ドアに挟んだりしないでください。またコンセントからプラグを抜く時は、必ず電源プラグを持って抜いてください。感電事故や火災事故、故障の原因となります。



設置準備の前に

この取扱説明書の見方

●必ず、始めから最後まで通してお読みください。
●各説明には以下の5つのマークがあり、それぞれ詳しい情報が記載されています。必要に応じて参照してください。

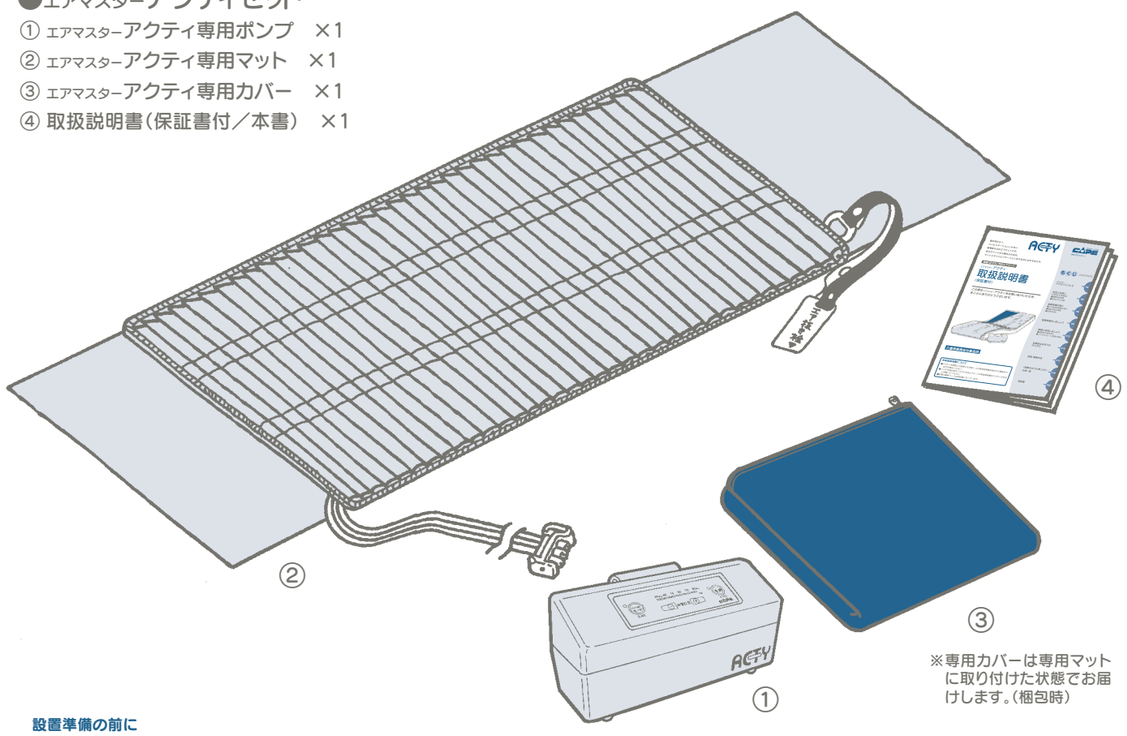
操作手順	準備や操作を安全にスムーズに行うための手順が書かれています。この手順通りに操作を進めてください。
警告	このマークにある指示に従わなかった場合に、物的損害や負傷、死亡につながる恐れのある危険性を警告しています。
注意	このマークにある指示に従わなかった場合に、本商品が正常に機能しなくなる可能性を警告しています。
確認	準備や操作の指示内容について、それが指示通りにできたかを確認する方法を説明しています。
お願い	準備や操作上でご注意・ご確認いただきたいことを説明しています。

●使用を開始してからも、困ったこと、わからないこと、不安なこと等が生じた場合には、この取扱説明書の「『故障かな？』と思ったら…」(P.18、19)を見て、解決のための情報を得てください。
故障でない場合、その問題を解決するための説明がこの取扱説明書のどのページに記載されているか、わかるようになっています。
●上記の方法で解決できなかった場合は、この取扱説明書の保証欄(最終ページ)をご覧になり、お買い上げになったご購入先、または株式会社ケープまでお問い合わせください。

梱包内容の確認

お手元にお届けした梱包には以下のものが入っています。ご確認ください。

●エアマスターアクティセット
① エアマスターアクティ専用ポンプ　×1
② エアマスターアクティ専用マット　×1
③ エアマスターアクティ専用カバー　×1
④ 取扱説明書(保証書付／本書)　×1

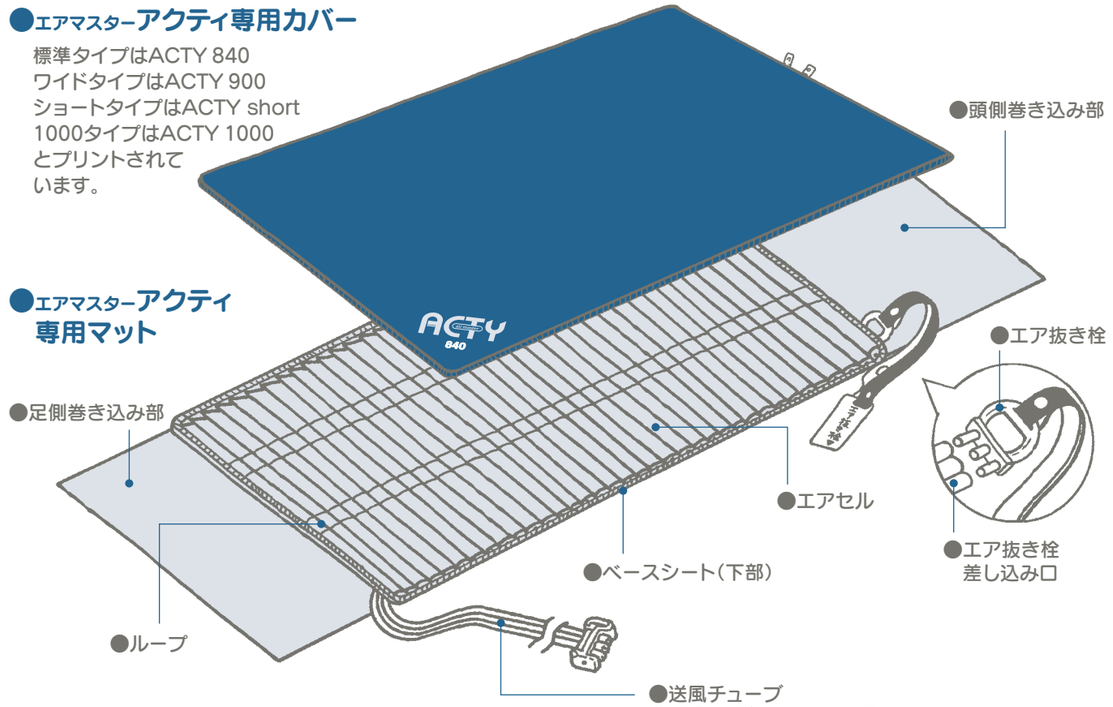


※専用カバーは専用マットに取り付けた状態でお届けします。(梱包時)

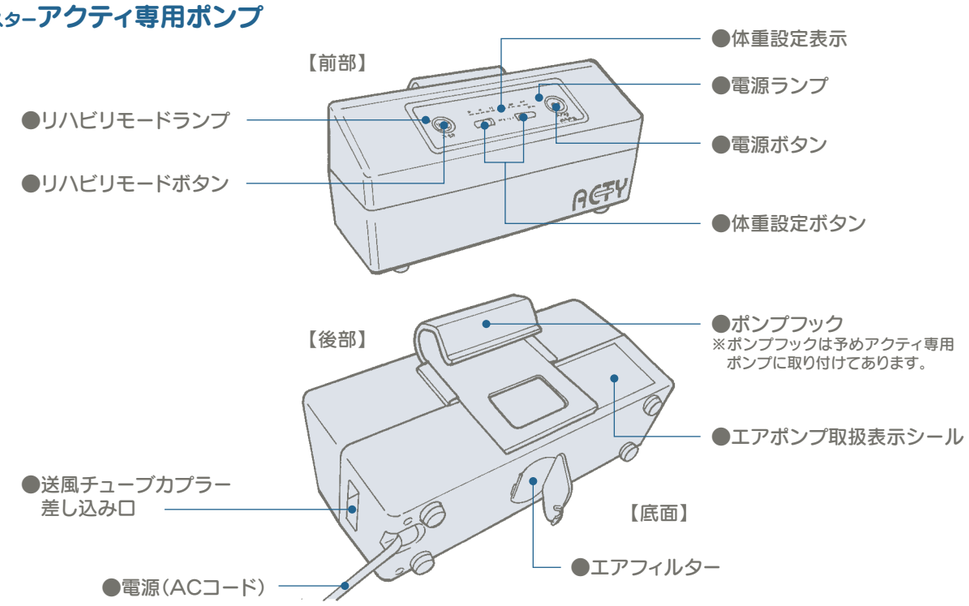
各部の名称

●エアマスターアクティ専用カバー
標準タイプはACTY 840
ワイドタイプはACTY 900
ショートタイプはACTY short
1000タイプはACTY 1000
とプリントされています。

●エアマスターアクティ専用マット



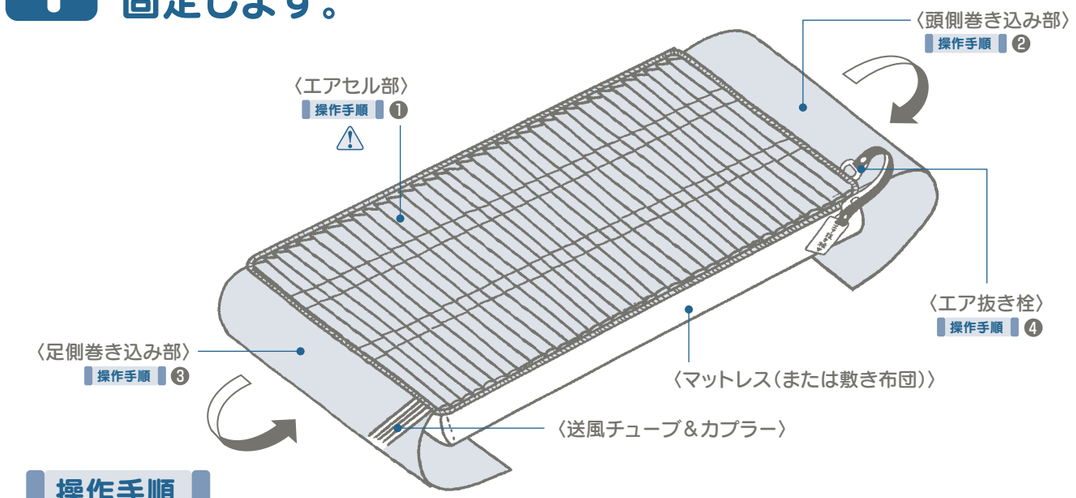
●エアマスターアクティ専用ポンプ



設置準備をしましょう ①

エアマスターアクティ専用マットをマットレス（または敷き布団）に設置し、エアマスターアクティ専　用ポンプを送風チューブに接続します。

1 アクティ専用マットをマットレス（または敷き布団）に固定します。



操作手順

❶ エアセルが並んでいる面を上にして、アクティ専用マットをマットレス（または敷き布団）の上に置きます。

エアセルとベースシートは、両サイドがホックで、真ん中2ヶ所はループでしっかり固定されています。また、エアセルは1本1本取り外しが可能です。

警告 送風チューブは必ず足側になるようにアクティ専用マットを設置してください。送風チューブが頭側にくると、送風チューブが頭にからんで事故を招く恐れがあります。

❷ 頭側巻き込み部をマットレス（または敷き布団）の下に敷き込み、アクティ専用マットを固定します。

❸ 足側巻き込み部をマットレス（または敷き布団）の下に敷き込み、アクティ専用マットを固定します。

警告 送風チューブを束ねたり専用マットの下に巻き込まないでください。送風チューブが折れ曲がったり圧迫されると、空気がエアマット内に送りこまれなくなり、エアマットとしての期待した効果が得られない恐れがあります。

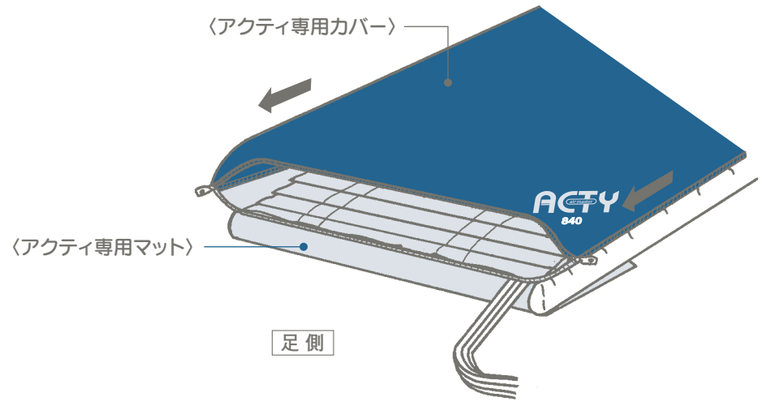
❹ エア抜き栓がしっかりエア抜き栓差し込み口に差し込まれているか、確認してください。

この栓を抜くと、エア抜き栓差し込み口からエアセル内の空気が抜けます。
収納、運搬時や、空気を急いで抜く必要のある場合のみ、このエア抜き栓をご使用ください。

※別売の「急速ポンプ」（P.12）を使用する場合には、このエア抜き栓を外して接続します。

※緊急対応のエア抜き栓ではありません。

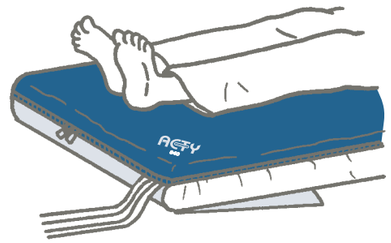
2 付属の専用カバーをアクティ専用マットに固定します。



操作手順

❶ アクティ専用カバーと専用マットにはファスナーが付いています。そのファスナーを閉じて、アクティ専用カバーと専用マットを固定します。

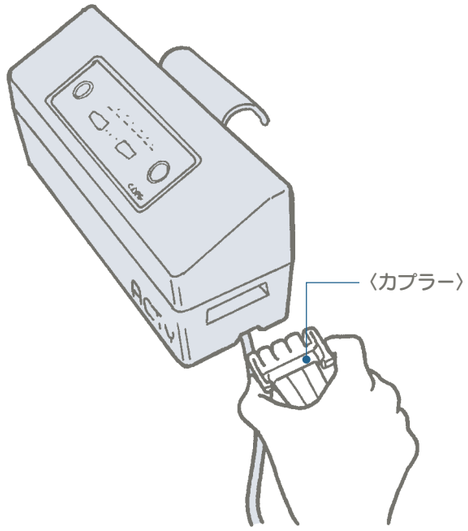
確認 送風チューブが出ている方が足側になっていることを確認してください。



注意 アクティ専用マットの表面を、針や先のとがったもので刺したり、傷つけたりしないでください。
エアセルのパンクの原因となり、アクティが正しく機能しなくなります。

注意 アクティ専用カバーと、アクティ専用マットの間には、ベッド用パッドなどを入れないでください。期待した効果が得られない恐れがあります。

3 アクティ専用ポンプに送風チューブを接続します。



操作手順

❶ アクティ専用マットに付いている送風チューブのカプラー（接続部分）を、アクティ専用ポンプの差し込み口にしっかりと差し込みます。

カプラーを差し込む向きに、特に決まりはありません。

確認 カプラーが確実に接続されていることを確認してください。

注意 送風チューブが外れないように、カプラーを確実に接続してください。
きちんと接続されないと、エアセルに空気が送られなくなり、アクティは機能しません。

警告 アクティ専用ポンプと専用マット以外の組み合わせでは、絶対に使用しないでください。期待した効果が得られないばかりか、火災事故や故障の原因にもなります。

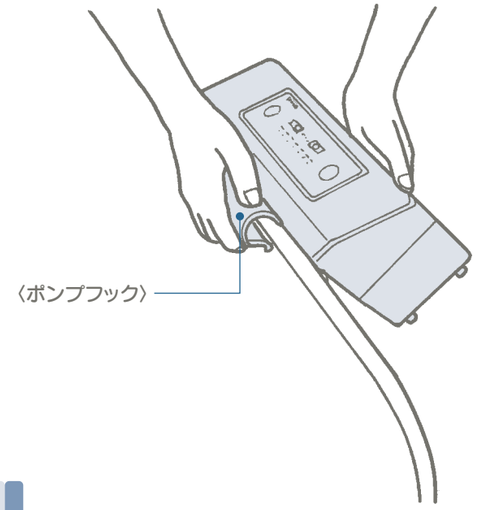
特にご注意いただきたいこと
アクティとトライセルは、ポンプとマットの接続部が同じ形状をしているので、接続が可能ですが、違う商品同士を組み合わせてのご使用は絶対にしないでください。

警告 専用ポンプから専用マットを取り外す場合、送風チューブ先端のカプラーを掴んで引き抜いてください。
※送風チューブを持って引き抜くことはおやめください。

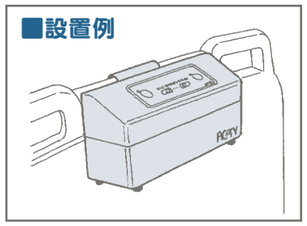
注意 アクティご使用時にベッドから乗降する際は、送風チューブが接続されていない側（足元から向かって左側）から行ってください。エアセル（空気の筒）と送風チューブの接続部分に繰り返し体重がかかることにより破損する可能性があります。

警告 アクティをご使用の際は、必ずベッドにサイドレールを取り付けてください。サイドレールを使用しない場合には、ベッドからの落下・転落を招く恐れがあり、事故の原因にもなります。

4 アクティ専用ポンプを正しく設置します。



■設置例



操作手順

ベッドでご使用の場合

❶ アクティ専用ポンプに付いているポンプフックを、ベッドのフットボードに引っ掛けて固定します。
ポンプフックを上記の図のように斜めに傾けると、楽に引っ掛けられます。

注意 アクティ専用ポンプをベッドの脚部などに直接触れさせないでください。振動音を発する恐れがあります。

注意 アクティ専用ポンプを設置する際、送風チューブを折り曲げないでください。充分な空気が送られないと、期待した効果が得られない恐れがあります。

敷き布団や引っ掛ける場所のないベッドでご使用の場合

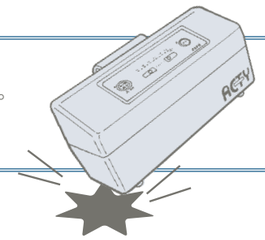
❶ アクティ専用ポンプを、足側などの邪魔にならない水平に安定した場所に置いてください。

注意 アクティ専用ポンプを枕元に設置することは避けてください。わずかな作動音ですが、安眠を妨げる可能性があります。

注意 アクティ専用ポンプを、高さ調整のできるベッド脇の床に設置した場合、アクティ専用ポンプがベッドのフレームと床との間にはさまれないように注意してください。ベッドの高さを下げる場合にベッドのフレームと床の間に専用ポンプがはさまり、専用ポンプが破損する恐れがあります。

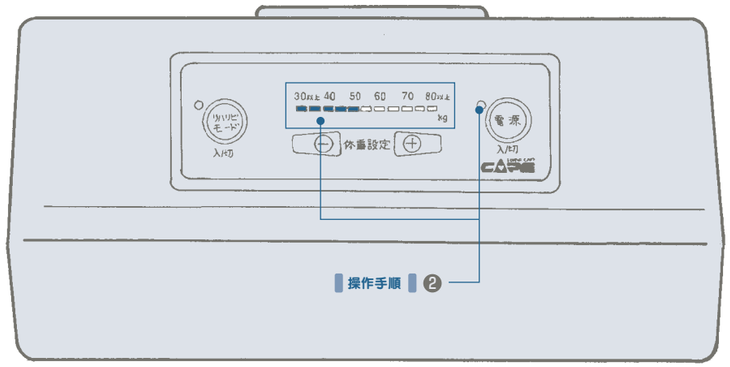
注意 アクティ専用ポンプを設置する際、送風チューブを折り曲げないでください。充分な空気が送られないと、期待した効果が得られない恐れがあります。

警告 アクティ専用ポンプを落とすなどして強い衝撃を与えないでください。
外装の破損や故障の原因となります。



設置準備をしましょう ③

5 アクティ専用ポンプをコンセントにつなぎ、ポンプを作動させてエアセル部を膨らませます。



操作手順

❶ アクティ専用ポンプの電源プラグを、家庭用コンセントに差し込みます。（100V／50/60Hz）

警告 アクティ専用ポンプの電源プラグは、必ず日本国内の家庭用コンセント（100V／50/60Hz）に確実に差し込んでお使いください。これ以外の電圧で使用すると、火災事故や故障の原因となります。

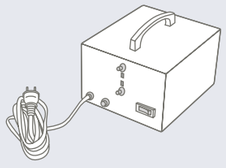
警告 濡れた手でアクティ専用ポンプの電源プラグを抜いたり差し込んだりしないでください。感電事故や故障の原因となります。

❷ 電源ボタン横の電源ランプが赤く点灯し、体重表示が「50kg」（初期設定）を表示します。

以上で設置準備は終了です。

注意 使用中の空気もれや使用手順の不備があった場合、電源ボタン横のランプが点滅します。
もし手順の途中でこのランプが点滅したら、チューブの接続を確認後、P.8「設置準備をしましょう①」から操作をもう一度やり直してください。

【オプション（別売）】別売の「急速ポンプ」を使えば、より短時間でマットを使用可能な状態にできます。



※エア抜き栓部に接続して空気を送り込みます。
※短時間で空気を抜きたい時にもご利用いただけます。
※エアセル内の空気圧が100mmHg以上になりますと、バンクの恐れがありますのでご注意ください。

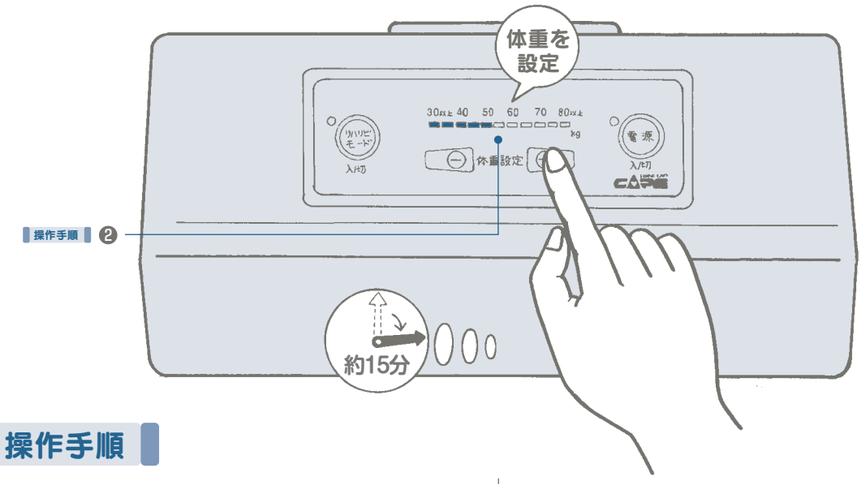
警告 急速ポンプで空気を送る際には、必ずそばに立ち会いながら送風し、「5分」を使用限度としてください。それ以上の時間、空気を入れ続けるとエアセルが膨張しすぎて破損する危険があります。

アクティ専用ポンプの底面にあるエアフィルターが汚れている場合は、エアフィルターを交換してください。
エアフィルターは、使用場所の環境にもよりますが、連続使用の場合には、1年に1回の交換をお薦めします。

実際に使用しましょう（通常時の使用方法）

使用される方に合わせて体重設定ボタンを調整します。

1 使用される方の体重に合わせて「体重設定ボタン」を調整します。



操作手順

❶ P.8～12に書かれた設置準備を行います。

確認 アクティ専用マットの2系統以上のエアセルが完全に膨らんでいることを確認してください。

❷ 体重設定ボタンを調整し、使用される方の体重を設定します。体重設定ボタンの上にある体重設定表示を見ながら操作してください。

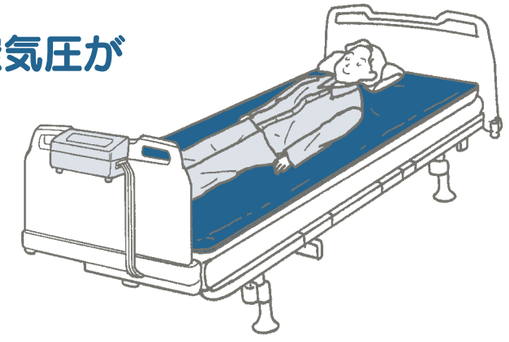
体重設定ボタンの目盛りは5kg刻みとなっています。
1回押すごとに一目盛り（5kg）ずつ設定が変わります。

❸ 設定したら、約15分間そのままにしてください。設定された体重に合わせてアクティ専用ポンプから送られる空気圧を調節します。

電源を切った後の体重設定について
【電源ボタンを押して切った場合】
体重設定が記憶されていますので、再度電源を入れた際にも前回設定した体重が表示されます。
【停電、電源プラグを抜いて切った場合】
前回設定した体重は表示されず、初期設定（50kg）に戻ります。もう一度体重設定（①～③）が必要となります。

注意 ご使用中、停電や、電源プラグを抜いて電源を切った場合には、通電後に再度電源ボタンを押し直し、体重設定を行ってください。

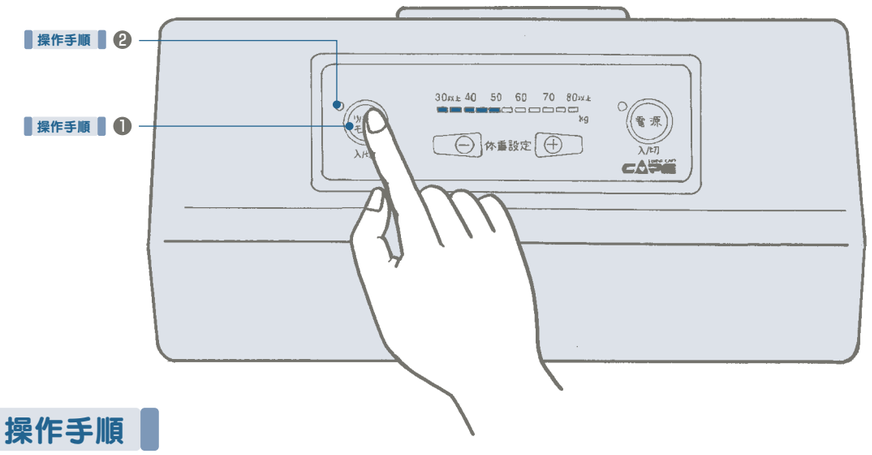
2 体重設定をして、マット内の空気圧が安定したのを確認した後に、使用者に寝てもらいます。



実際に使用しましょう（「リハビリモード」使用の場合）

端座位をとる際やマット上でリハビリテーションを行う時など、より安定感を求められる場　合に、「リハビリモード」を使用します。

1 アクティ専用ポンプの「リハビリモードボタン」を押してください。



操作手順

❶ アクティ専用ポンプの「リハビリモードボタン」を押してください。

> コントロールパネルの右側の専用ポンプの電源ボタンを押した直後にリハビリモードボタンを押しても、ONになりません。電源ボタンを押して約1分30秒お待になってから、リハビリモードボタンを押してください。

❷ リハビリモードボタン横のリハビリモードランプが赤く点灯し、アクティ専用マット内の空気圧を調整し始めます。

❸ リハビリモードボタンを押すと、アクティ専用ポンプから送られる空気圧が調節され、アクティ専用マットの波動機能が停止します。リハビリモードボタンを押してから約5分ほどすると、空気圧の調節が完了します。

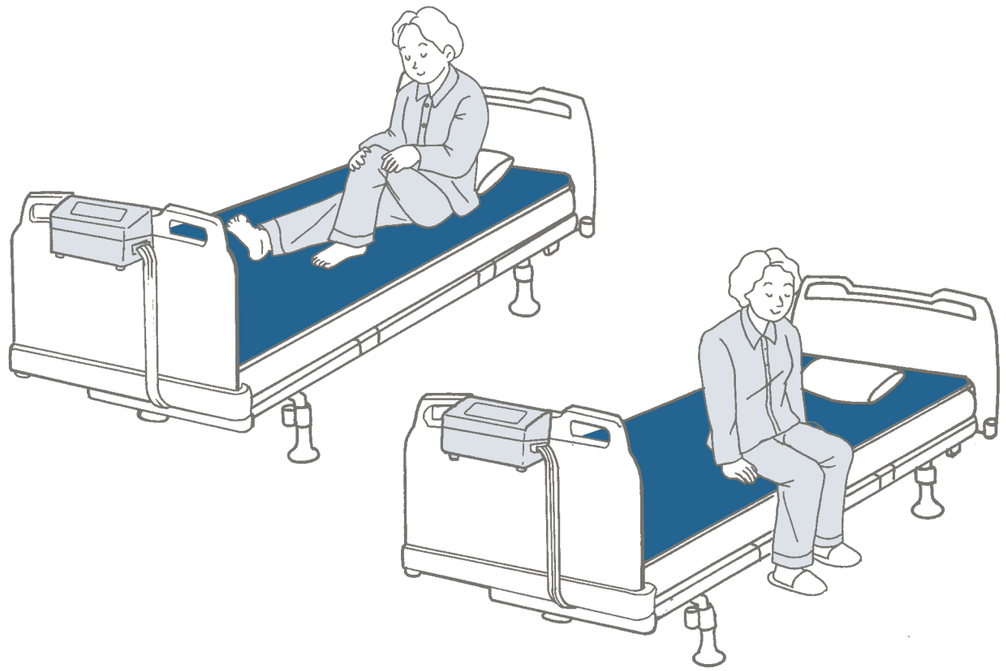
❹ リハビリモード機能は約2時間で自動的に解除され、アクティ専用マットは通常時の波動機能と体重設定に合わせた空気圧に戻ります。

お願い 「リハビリモード」はエアマットの安定感を高めるための機能です。本機能は全てのエアセルに空気を満たし、さらに内圧を上げるために、圧力を解放する機能を一時的にストップさせます。
したがって1回の継続使用は2時間までとしてください。

※「リハビリモード」機能は2時間で自動的に停止し、通常の膨張・収縮動作に戻る設定となっています。

※「リハビリモード」機能はリハビリモードボタンを再度押すことでキャンセルできます。

2 マット内の空気圧を安定させ、端座位やマット上でのリハビリテーションがしやすい状態にします。



操作手順

❶ P.8～P.14に書かれた設置準備を行います。

❷ マット内がすべて同じ空気圧になっているか、確認してください。

❸ マット内の空気圧を確認後、端座位やマット上でのリハビリテーション等を行ってください。

警告 アクティの上で端座位や移乗する際には、必ず第三者の立ち会いのもとに行ってください。
ベッドからの落下・転落を招く危険があります。

定期的なお手入れのしかた

エアマスターアクティ専用マットの空気圧点検

●アクティをご使用中は、必ず1週間に1度の間隔でエアセルの空気圧点検を行ってください。
なお、アクティの設置場所を変えた場合や、停電などで一時的に作動が停止した場合などには、1週間以内の間隔でも、その都度行ってください。

●体重設定表示(P.13)を確認し、設定した数値が表示されていることを確認してください。設定値が違っている時、電源プラグをコンセントから外した場合は必ず、直ちにP.12、13の手順に従って設定し直してください。

●異常や変化が感じられる時、また困ったこと、わからないこと、不安なことが生じた場合には、P.18、19「『故障かな？』と思ったら…」をご覧になり、確認してください。送風チューブの接続不良や、エアセルの損傷による空気漏れなども考えられます。

各部の掃除

エアマスターアクティ専用マットのお手入れ

(専用カバーにより覆われていますので、頻繁な掃除の必要はありません)

1 アクティ専用ポンプの電源ボタンを「OFF」(電源ボタン横の赤ランプが消えた状態)にして、アクティ専用ポンプから送風チューブを外します。

2 エアセル部の空気を抜いてください。
※オプションの急速ポンプ(P.12)を使うと便利です。

3 アクティ専用カバーを取り外します。

4 エアセル部を掃除します。
・布に薄めた中性洗剤かぬるま湯(50℃以下)を含ませ、固くしぼります。
・上記の布で、アクティ専用マット内のエアセル部の表面の汚れをふき取ります。
・陰干しして自然乾燥させます。

5 アクティ専用カバーを取り付けます。
※アクティのエアセルは素材(ウレタンフィルム)の特性上、長期間使用すると、多少色が変わる場合がありますが、機能的には問題ありませんので続けてご使用ください。

お願い ベンジン、シンナー、クレゾールなどは、材質を傷めますので使用しないでください。

エアマスターアクティ専用カバーのお手入れ

1 アクティ専用カバーをマットから取り外します。

2 手で押し洗いをします。

3 陰干しして自然乾燥させます。

お願い
・ドライクリーニング、乾燥機、オートクレープは、裏面のポリウレタン樹脂を傷めますので使用しないでください。
・タンブラーでの乾燥はフィルムが剥がれたり、破れたりする恐れがありますので避けてください。
・スチームアイロン、スチームプレスは絶対に避けてください。
・アイロン仕上げをする時は100℃までの低い温度で、フィルムのない面にあて布をおいてアイロンを掛けてください。

エアマスターアクティ専用ポンプのお手入れ

1 アクティ専用ポンプのスイッチを「OFF」(電源ボタン横の赤ランプが消えた状態)にして、コンセントから電源プラグを抜きます。

2 布に薄めた中性洗剤かぬるま湯(50℃以下)を含ませ、固くしぼります。

3 2.の布で、アクティ専用ポンプの表面の汚れをふき取ります。

4 底面にあるエアフィルターが汚れている場合は、エアフィルターを交換してください。(P.12)
エアフィルターは、使用場所の環境にもよりますが、連続使用の場合には、1年に1回の交換をお薦めします。

注意 アクティ専用マットから送風チューブを取り外さないでください。接続できなくなったり、接続部が破損したりする恐れがあります。

警告 アクティを長期間使用しない時、またアクティ専用ポンプのお手入れの際には、必ず電源プラグをコンセントから外してください。火災事故や感電事故、故障の原因となります。

警告 アクティ専用ポンプの電源コードを無理に引っ張ったり、傷つけたり、破損させたり、ドアに挟んだりしないでください。またコンセントからプラグを抜く時は、必ずプラグを持って抜いてください。感電事故や火災事故、故障の原因となります。

警告 濡れた手で、アクティ専用ポンプの電源プラグを抜き差ししないでください。感電事故や故障の原因となります。

保管・廃棄方法

エアマスターアクティを保管する場合

アクティのご使用を止め、保管される場合は以下の手順で保管してください。

1 アクティ専用ポンプのスイッチを「OFF」(電源ボタン横の赤ランプが消えた状態)にして、コンセントから電源プラグを抜きます。

2 アクティ専用ポンプから送風チューブを外し、エアセル部の空気を抜いてください。

3 左記の「各部の掃除」と同様に、汚れを落とします。

4 アクティ専用マット、アクティ専用カバーは折りたたみ、お届け時に入っていたビニール袋に入れます。

5 アクティ専用ポンプは電源コードを束ねて、お届け時に入っていたビニール袋に入れます。

6 それぞれを、お届け時に入っていた箱に納めて、保証書(本取扱説明書)と共に保管します。

お願い
・落下しないよう、安定した所に置いてください。
・箱がつぶれるような重い物を、上に重ねないでください。
・湿気の少ないところに保管してください。

エアマスターアクティを廃棄する場合

各パーツを素材ごとに分け、各行政のゴミ分別方法に従って廃棄してください。

『故障かな？』と思ったら… ／ 仕様一覧

症　　状	考えられる原因	対　処　方　法	取扱説明書の参照ページ
●ポンプが作動しない （電源ランプが点灯していない）	・電源プラグがコンセントに入っていない ・電源が入っていない	・電源プラグをコンセントに入れてください ・電源ボタンを「ON」にしてください	P.12 P.12
●マットが膨らまない/柔らかすぎる	・ポンプが作動していない ・送風チューブが外れている ・送風チューブが折れ曲がっている ・エアフィルターが詰まっている ・体重設定ボタンの調整が誤っている ・エア抜き栓が抜けている	・電源ボタンを「ON」にしてください ・送風チューブを接続し直してください ・送風チューブを伸ばしてください ・エアフィルターを交換してください ・体重設定ボタンを適正に調整してください ・エア抜き栓をしっかり差し込んでください	P.12 P.10 P.10、11 P.12、17 P.13 P.8
●エアセル部が部分的にしか膨らまない	・エアセル同士をつなぐ送風チューブが外れている	・専用カバーを開き、抜けている箇所の送風チューブを接続し直してください	お問い合わせください
●マットが硬すぎる	・体重設定ボタンの調整が誤っている	・体重設定ボタンを適正に調整してください	P.13、14
●ポンプの作動が一時的に停止する	・故障ではありません	・そのままでご使用ください。しばらくすると作動します	P.12、13
●ポンプの音が異常に大きい	・ポンプの上に物が乗っている ・ポンプが他の物に触れている ・ポンプを振動しやすい物の上に置いている ・ポンプが水平に設置されていない	・乗っている物を取り除いてください ・触れている物を取り除いてください ・ポンプを安定した場所へ設置してください ・ポンプを水平に設置してください	P.11 P.11 P.11 P.11
●停電が発生した		・停電回復後、再度、電源ボタンを押し直し、体重設定を行ってください	P.13

アクティをお使いになっていて、または点検の際に何らかの異常や変化、疑問を感じられた時は、上記のことを確認し、それぞれについての説明が記載されている参照ページをご覧ください。
それでも原因が不明な時は、故障や部品破損の可能性があります。ご使用を止め、最終ページの保証書をご覧になり、ご購入先、もしくは株式会社ケープまでお問い合わせください。

仕様一覧

生産物賠償責任保険付

■エアマスターアクティ専用ポンプ
注文No：CR−291
定　格：AC100V／8W／50/60Hz
寸　法：幅31.5cm×高さ15cm×奥行10cm
重　量：2.2kg
外ケース材質：ABS樹脂（抗菌機能付）
ACコード寸法：4m

■エアマスターアクティ専用マット
標準　注文No：CR−292
寸　法：幅84cm×長さ193cm×厚み5cm
重　量：3.0kg
ワイド　注文No：CR−301
寸　法：幅90cm×長さ193cm×厚み5cm
重　量：3.2kg
ショート　注文No：CR−311
寸　法：幅84cm×長さ180cm×厚み5cm
重　量：2.8kg
1000　注文No：CR−341
寸　法：幅100cm×長さ193cm×厚み5cm
重　量：3.8kg
材　質：●ベースシート：ナイロンオックス すべり止め加工布（抗菌加工）
●エアセル：ウレタンフィルム 表面シボ加工
●エアセル本数：36本（ショート 34本）

■エアマスターアクティ専用カバー
標準　注文No：CH−237
ワイド　注文No：CH−217
ショート　注文No：CH−311
1000　注文No：CH−000
材　質：ラミ加工ウレタンフィルム布（抗菌・防臭機能付）